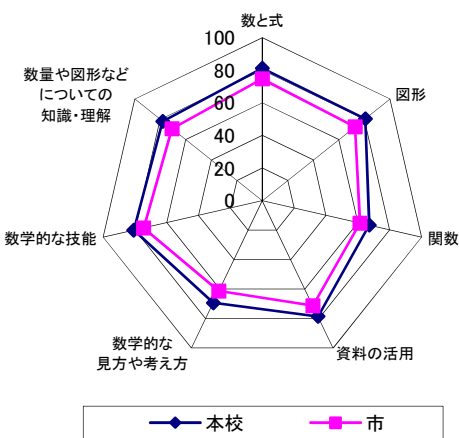


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	81.3	74.7	72.4
	図形	80.7	72.7	62.3
	関数	67.2	61.3	52.1
	資料の活用	78.6	71.3	55.6
観点別	数学的な見方や考え方	69.3	61.4	45.2
	数学的な技能	80.8	74.6	69.7
	数量や図形などについての知識・理解	78.1	70.8	61.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	平均正答率は、一問を除いて市の平均を上回っており、領域全体では6.6ポイント上回っている。 ○3年生で学習する「平方根全般」「2次方程式の解き方」に関する問題では、市の平均を10ポイント以上上回っており、学習内容がしっかりと身についている。 ●2次方程式からその意味を読み取る問題では、この領域で唯一、市の平均を0.3ポイント下回っている。	・文章を読んで、立式をすることには慣れているが、式から何を表しているかを読み取ることに慣れていない。そのために、授業の中で、他の生徒がつくった式を見てどのように考えたのかを予想したり、式が表していることを考えたりすることを授業の中で取り入れていくようにする。 ・計算や方程式を解くなど、基本的なことはさらにスキルアップできるよう、問題数や時間などを考えて取り組むようにする。
図形	平均正答率は、すべての問題で市の平均を上回っており、領域全体では8.0ポイント上回っている。 ○作図や図形の性質を答える問いでは、90%以上の正答率で、学習内容がしっかりと身についている。 ○三角形の合同の証明では、市の平均正答率を15ポイント以上上回っている。 ●空間図形の問題において、苦手意識をもっている生徒が多い。	・空間図形に関する基本的な内容(特に体積や表面積を求める問題)をしっかりと身につけさせるため、形に着目して求め方が定着するようにする。 ・空間図形は1年生の後半、および3年生の後半で教科書に出てくる内容であり、2年生ではあまり触れる機会がなかったため、意図的に他の単元と融合した形で問題を準備し、取り組む時間を取り入れ空間図形への苦手意識をなくしていきたい。
関数	平均正答率は、すべての問題で市の平均を上回っており、領域全体では5.9ポイント上回っている。 ○xの2乗に比例する関数の座標や変域を求める問題での正答率が高くなっている。 ●グラフから図形の辺の長さを求める問題での正答率が低くなっている。	・どの関数でも、xとyの関係を式で表したりグラフに表したりする力は、おおむね身につけている。ただ、それを関連付けて考える問題が苦手な生徒が多い。そのため、関数の単元の後半に十分に問題演習の時間を確保し、多くのパターンの問題に慣れるようにする。また、図形との融合問題も多くあるため、関数だけでなく図形の単元の際にも、問題演習を取り入れ、考え方が慣れるようにしていきたい。
資料の活用	平均正答率は、すべての問題で市の平均を上回っており、領域全体では7.3ポイント上回っている。 ○平均値を求める問題や確率における組み合わせを考える問題では、正答率が90%以上となっており、学習内容がしっかりと身についている。 ●度数分布表から相対度数を求める方法が、しっかりと身につけていない。	・相対度数、平均値、中央値、最頻値、範囲などの意味をしっかりと把握できるよう、2年生や3年生になっても、折を見て復讐するようにしていきたい。 ・確率の問題では、順番が関係する場合、組み合わせを考えればよい場合にしっかりと分けて考えられるよう、様々な問題場면을授業の中で取り入れていきたい。